

新年あけましておめでとうございます。大田区商店街連合会の皆様におかれましては、新たな年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。去年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内のみならず、世界中の政治や経済が右往左往した一年となりました。病院では日を追うごとに入院患者が増え、全国各地で病床がひっ迫しました。医療体制の確保が不十分な環境の中、感染のリスクを冒して国民の生命を守る医療従事者の皆様に、この場を借りて、改めて深い敬意と感謝を表明いたします。

経済界においても、コロナは大きな猛威を振るいました。経済への負のインパクトは、かつてのリーマン・ショックを凌ぐともいわれており、この新型コロナ・ショックによって、たくさんの人々が職を失い、また、たくさんの人々の挑戦の機会が失われました。まさに、コロナ禍における経済界は、これまで経験したことの無い未曾有の危機下にあったと言っても過言ではなく、そして、それは残念ながら現在も改善・解決への道半ばにあります。

さて、今年は丑年です。丑年は我慢・忍耐の年といわれています。地道に目の前のことに一生懸命に取り組むことが吉であり、それが将来の成功に繋がるとされています。依然としてコロナ禍が続いていますが、今年「感染拡大防止」と「経済活動」の両輪を、より一層忍耐強く、より一層バランスよく回していくことが必要となります。今年の夏に延期された「東京オリンピック」は、まさにその象徴ともいえ、人類とコロナウイルスとの戦いにおいて、特別で重要な意味合いを持っていると考えます。従来通りの満員の観客を迎えることは叶わないかもしれませんが、十分な感染防止策のもと、少しでも多くの人々が東京を訪れ、その魅力に触れていただくことは、コロナ禍によって疲弊し、混乱を極めた東京、そして日本、さらには全世界の国々にとって、長い復興への道のりの「大きな第一歩」になると信じてやみません。ここ大田区においても、この東京オリンピックの成功を皮切りに、徐々にインバウンドの需要が回復し、羽田空港や各地の商店街、企業のみなさまのもとに、また賑やかな日常が戻ることを心から期待しております。

大田区商店街連合会といたしましては、まず何よりも地域に住まわれる皆様の健康と安全な生活を優先した上で、今年も区や都とタイアップした様々な取り組みを実施してまいります。ここ大田区には、コロナ禍に負けず、知恵を出し合って戦っている商店街がたくさんあります。今はまだ日本全体が五里霧中にさまよう思いではありますが、明けない夜はないと信じ、共に手を取り合い、この難局を乗り越えたい所存です。いつかまた、マスクを外し、皆で笑って過ごせる日常が必ず戻ってきます。今が正念場です。一緒に頑張りましょう。最後になりますが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしく願い申し上げます。